

経営比較分析表

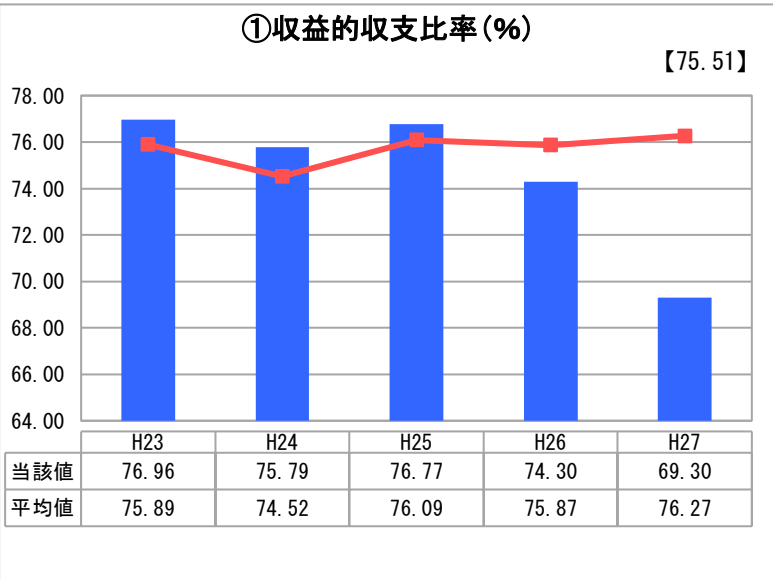
青森県 佐井村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.27	3,555

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,237	135.04	16.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,180	57.10	38.18

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



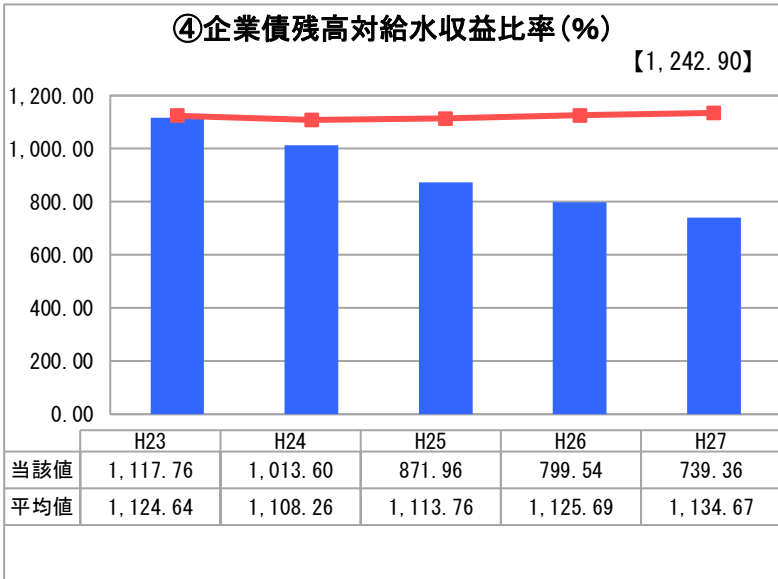
「単年度の収支」



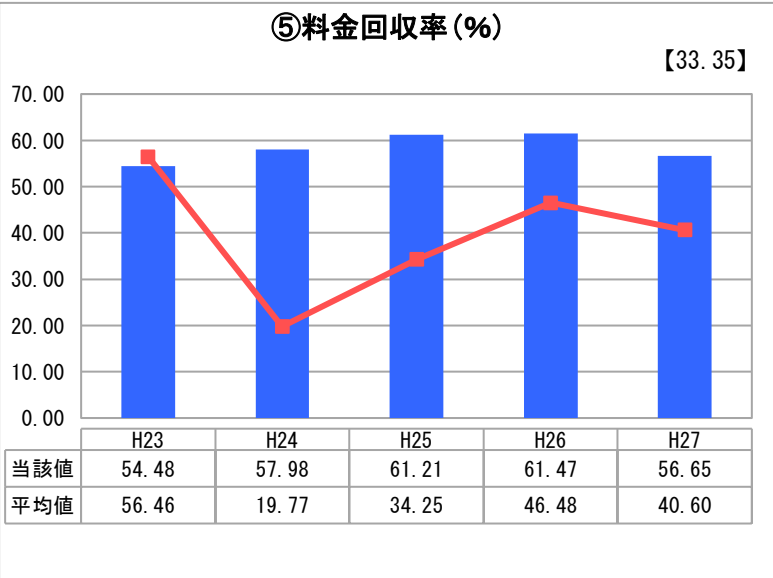
「累積欠損」



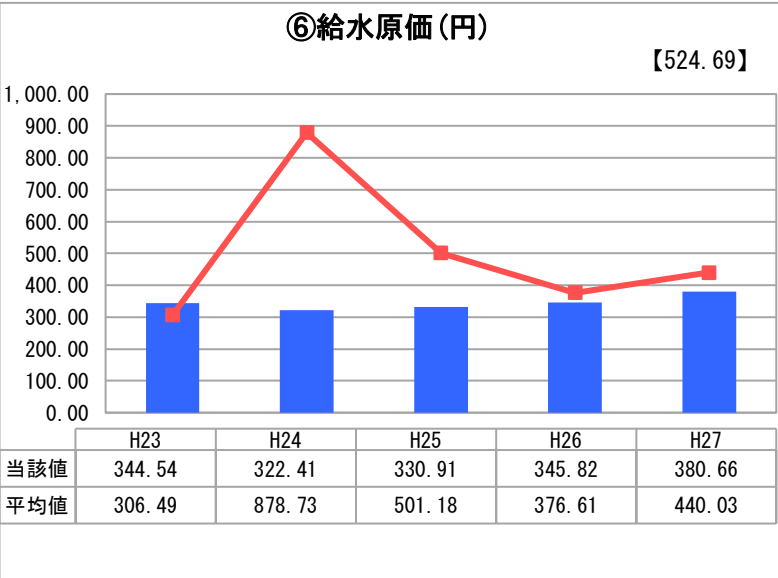
「支払能力」



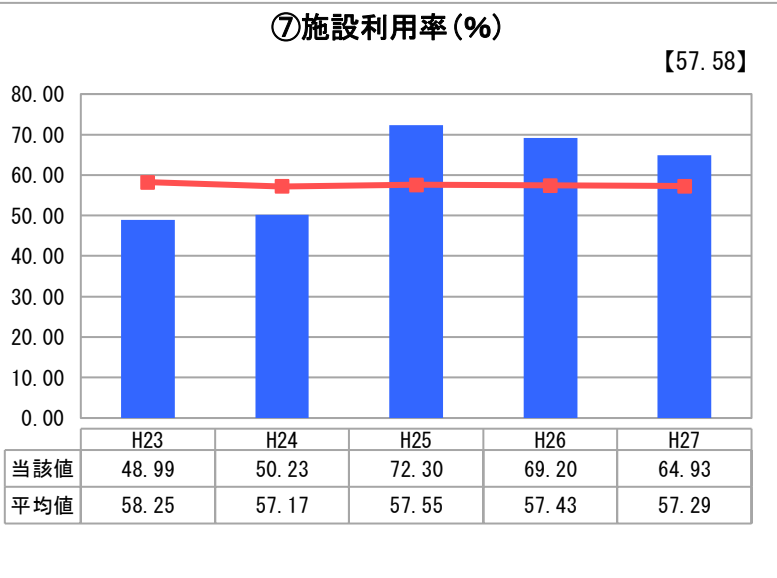
「債務残高」



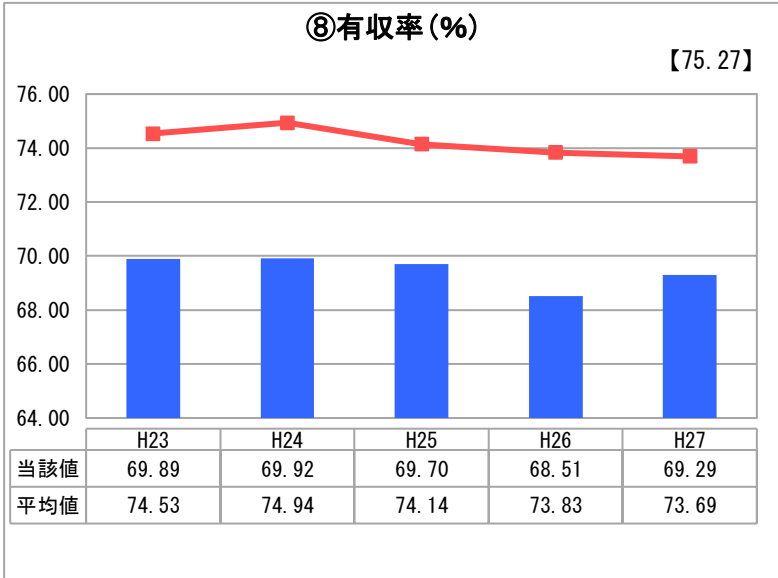
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

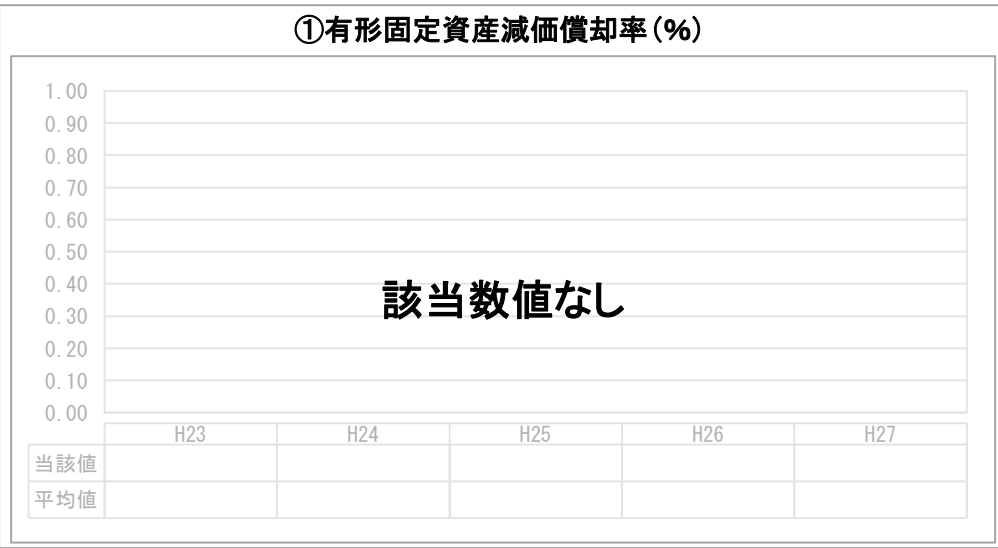


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

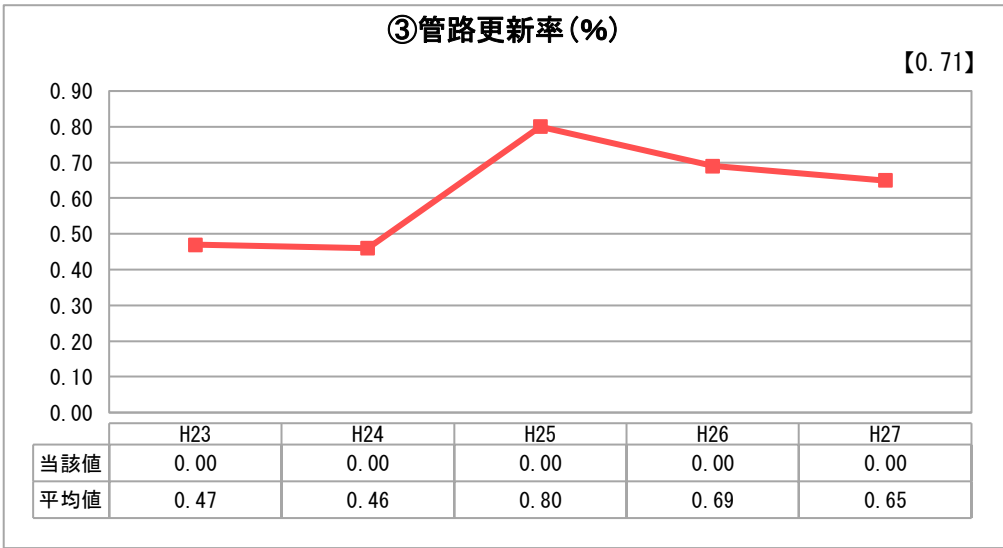
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当村簡易水道事業は、収益において維持管理費の全て・村債償還金の一部をカバーしているが実質黒字に至っていない。

収益的収支比率が平成26・27と低下しているのは、使用料収入の低下及び事業計画している機器更新概略設計費用、ゲリラ豪雨等による突発的な中規模修繕が続いたためと思われる。

有収率は類似団体平均値と大きく離されている。漏水箇所については早期の修繕を実施しているが、発見できていない漏水箇所があると思われる。

2. 老朽化の状況について

管路については8年度までに更新をしており、現状では水道管の破裂等も無くなったことから村民から一定の評価を得ている。

施設については昭和50年代に整備し水道供給をしており、定期的に修繕を実施している。

今後においては、監視機器等の劣化が顕著なことから機器の更新を行う。

また、漁業集落環境整備事業で整備した水道施設については、平成28年以降順次改修を実施する。

全体総括

当事業は維持管理に関しては収益のみでの経営は可能であるが、村債償還等に関しては他会計繰入金を活用しているのが現状である。

収益的には、経営状況に見合った料金設定の検討を行い段階的な料金改定を実施したい。今後において使用料料金の改定による収益の確保・維持管理費の低減に努め、健全性の高い事業としていく。

また、施設の老朽化等に関しては施設長寿命化を念頭において改修計画を作成し、適切な設備更新を心がける。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。